

子ども育ちの家 「て・い・く」だよ!



E-mail

第1回 りょういく懇談会を開催しました。

講師：元江津湖療育センター療育部長「尾道 幸子」先生
※上高橋地区の自治会長 川上様にもご参加いただきました。

12月2日(土)第1回目の
りょういく懇談会を「て・
い・く」で開催しました。
これは、「て・い・く」が
子育てに悩んでいる保護
者の方々の声をお聞きし、
専門家によるアドバイスや
それぞれの悩みを共有する
ことで、解決の糸口が見出
せたらとの思いで開いたも
のです。

今後は、「て・い・く」
の事業として定期的(次回
2月)に開催していく予定
です。

第1回目は、元江津湖療育セン
ターで、障がい児地域療育コー
ディネーターや相談支援専門
員、地域療育部長等を歴任され
た尾道幸子先生においでいた
きました。

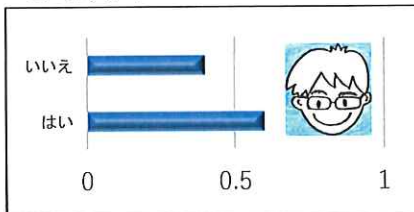
尾道先生は、療育相談の第一
人者として広く知られ、江津療
育センターご退任後も西区役所
の検診相談支援、上益城地区療
育センター相談員等々、いくつ
もの役職を兼務され多忙な日々
を送られています。



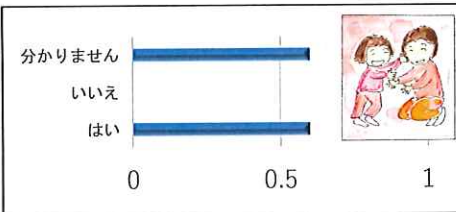
自己紹介に入る前に、尾道先生
から“もしもカメよカメさん
よ!”のリトミック版の提案があ
り、参加者で歌い互いの肩に触れ
あいながら和やかな雰囲気の中
で会が始まりました。

尾道先生には、保護者から依頼
があった際には、個人相談もお受
けしていただくことになりました。
(12月は3件です。)

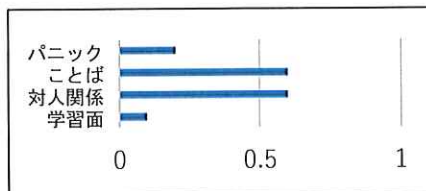
□福祉サービス(受給者証)を利用され
ていますか?



□子どもさんの支援体制は充実していますか?



□子どもさんの成長で悩んでいることは?



アンケートにご回答いただきました。

- 今日は、尾道先生のお話を聞きながら、自分への子どものかかわりを再度見直すいい機会になりました。言葉のかけかただったり、親の行動・・・反省すること多々・・・今日から気をつけて関わろうと思います。(療育相談を希望します。)
- 子どもの関わりかたとても勉強になりました。声掛けの仕方を工夫したいと思います。また、お話をしたい(聞きたいです。)
- 参加させていただき、ありがとうございました。入学後に、発達の相談から始まり、今まで手さぐりで過ごしてきました。
- 今日は、尾道先生のお話を聞いて、子どものことを良くみる、土台は周りの人によって影響が大きいとか色々大切なことがたくさん聞いてよかった。有り難うございました。

つぎのステップへ(春野)～子どもの姿から大人が学ぶこと～

尾道先生のお話は時間の関係で40分ほどしか聞けませんでした。感銘させられることばかりでした。・・・□一人で衣服の脱ぎ着きができるようになるためには目線はどこを見ているか、両手や指先の動かし方、姿勢、衣類の前後の理解など、いくつもの要素が絡み合っている、脱ぐの動作ができるようになる。着れる、着れないで判断するのではなく、どこに原因があるか、どうしたら着れるようになるか、一つ一つの動作の確認とその工夫が大事である。□親の日頃の姿を見て子どもは育つ。親の接し方、関わり方が間違っても子どもはそのまま受け入れていく。□成長過程で、ADL(日常生活動作)は大切だが、大人になってからはIADL(手段的日常生活動作)が求められる。子どもは人との関わりの中で育っていくからこそ、周囲の役割が大切になってくる等々・・・

大人は子どもが“できる”“できない”の一面を見て判断してしまいがちです。先生のお話から、療育とは子どもの育ち(一人一人違う)に大切なことは何かをしっかりと見つめ、回りの大人が工夫して伸ばしていくことだと改めて思いました。※12時10分には一旦終了しましたが、その後もお話がなかなか終わらずお聞きになったのは午後1時頃でした。お陰様で、とても充実した懇談会になりました。

多忙な折にご講話をいただきました尾道先生、自治会長としてご出席いただきました川上様、そして参加されました皆様方に心からお礼申し上げます。

□進学や進級、就労等で迷われていますか?

